

資料編 1

研修医マッチング

初年度参加主体アンケート調査用紙

1. 1. 研修病院向けアンケート調査用紙

研修医マッチング 初年度参加主体アンケート（研修病院）

- ・臨床研修ご担当の方が貴院の研修医マッチングへの参加状況を考慮してご記入ください。
- ・選択型質問は、該当する選択肢の番号を○で囲んでください。
- ・記入型質問は、所定の欄に数値等をご記入ください。
- ・平成16年11月15日までに、返信用封筒にてご返送ください。

問1. 貴院は以下のいずれにあたりますか？

1. 大学病院(国立)、 2. 大学病院(公立)、 3. 大学病院(私立)
4. 臨床研修病院(国立)、 5. 臨床研修病院(公立)、 6. 臨床研修病院(民間)

問2. 貴院の規模について、本年度の状況をお答えください。

所在地都道府県： 総床数：床 1日平均外来患者数：名

医師数(研修医含む)：名 研修医数：名 うち1年目研修医：名

【研修プログラムの情報提供について】

問3. 貴院における情報の提供方法について、最も当てはまるものを各1つお選びください。

(1) PMETのがたブックと貴院の自己ウェブサイトとの関係について

1. 自己ウェブサイトには、がたブックよりも詳細な情報を公開した。
2. 自己ウェブサイトには、がたブックと同等な情報を公開した。
3. 自己ウェブサイトには、ごく簡単な情報を掲載し、がたブックを主要情報提示先とした。
4. PMETの臨床研修病院リンク集にURLのみ公開し、自己ウェブサイト上で情報提供した。
5. インターネットは使用しないことにしている。

(2) より詳細な資料や願書の配布について

1. 自己ウェブサイトから、自由にダウンロードできるようにした。
2. 問い合わせ者に対してのみ、資料・願書を郵送や電子メールで配布した。
3. 説明会等の参加者や訪問者のみに、資料・願書を配布した。

問4. 貴院における研修医1年目の給与の推移について、お答えください。(PMETのがたブック等に公開した金額をもとに算出してください)

1. 平成17年度(今年募集)の給与は、年俸として、約 万円
2. 平成16年度(昨年募集)の給与は、年俸として、約 万円
3. 差し支えなければ、平成15年度(マッチング以前)の年俸をお答えください。
平成15年度は、年俸として、約 万円

【募集から希望順位決定までの作業について、昨年と本年を考慮してお答えください。】

問5. 「貴院が定員内に順位登録して下さるのなら、私は貴院を第1希望登録します」というような、採用を懇願する受験者の申し出はどの程度ありましたか？

件あたり、 件ぐらい

*このような懇願に対して、どのように対応されましたか？

問6. 管理型プログラムについてお伺いします。採用試験や面接から希望順位決定までの一連のプロセスにおいて、協力研修病院や施設の方は、

1. 常に参加した。
2. 希望順位決定の審議には参加した。
3. 上記のプロセスは、原則として、当該プログラムの管理病院に託されていた。
4. その他

問7. 次の値を（所与のプログラムの）「志願倍率」、「採用倍率」と呼ぶことにします。

$$\text{志願倍率} = \frac{\text{中間公表での第1希望者数}}{\text{プログラムの定員}} \left(\text{平成14年度は、} \frac{\text{応募者数}}{\text{研修医募集定員}} \text{とする} \right)$$

$$\text{採用倍率} = \frac{\text{貴院が順位登録した人数}}{\text{プログラムの定員}} \left(\text{平成14年度は、} \frac{\text{採用通知発送数}}{\text{研修医募集定員}} \text{とする} \right)$$

本年平成16年、昨年15年、および、マッチング開始前の平成14年における、貴院の志願倍率と採用倍率（プログラムを複数提供した場合は、平均値）をお教えてください。

	平成16年	平成15年	平成14年
志願倍率	. 倍	. 倍	. 倍
採用倍率	. 倍	. 倍	. 倍

問8. 中間公表についてのお考えやご体験として当てはまるものをすべてお選びください。

1. プログラムの学生評価が分かる。
2. プログラムや病院の人気投票でしかない。
3. 研修希望者の真の表明ではなく、後に変更されるだろう。
4. 第1希望者数から予想して、希望順位登録者数を減らすことができた。
5. 第1希望者数から予想して、希望順位登録者数を増やすことができた。

(次ページへ続く)

6. 中間公表後に追加募集をすることで、採用人事業務を集約・短縮できた。
7. 中間公表後に追加募集をするよりも、マッチング後に2次募集するほうが確実である。
8. 第1希望の人数だけでは情報が少なすぎる。
9. 中間公表をするよりは、マッチングを2回して欲しい。

問9. 昨年、本年を通じて、貴院は、中間公表をどのように評価されますか？

1. 役に立つ
2. あまり役立たない
3. どちらともいえない
4. その他 ()

【研修プログラムの編成・運営についておたずねします。】

問10. 貴院は、下記の型のプログラムをいくつ提供していますか？

	単独型	純管理型	純協力型	相互提携型
16年度(実施中)				
17年度(実施予定)				

上表のご記入に際して、

- ・ 貴院が管理病院となるプログラムだが、参加するいずれの協力病院についても、貴院は、その病院の管理型プログラムには協力病院として参加しない場合は、「純管理型」として教えてください。
- ・ 貴院が協力病院として参加するプログラムだが、その管理病院は、貴院が管理病院となるプログラムでの協力病院ではない場合は、「純協力型」として教えてください。
- ・ 貴院が管理病院となるプログラムだが「純管理型」ではないもの、および、貴院が協力病院となるプログラムだが「純協力型」ではないものは、「相互提携型」として教えてください。

問11. 今後、プログラム編成を変更する場合、どのように変更されますか？ 該当するものすべてをお選びください。(「純管理型」「純協力型」「相互提携型」の定義は問10をご覧ください。)

1. 相互提携型プログラムを拡充し、より多くの管理型病院との提携を目指す。
2. 純管理型プログラムを拡充し、より多くの協力型病院との提携を目指す。
3. 純協力型プログラムを拡充し、より求人力のある管理型病院との提携を目指す。
4. 単独型プログラムを拡充する。
5. 初期研修プログラムの提供を全体的に縮小する。

問12. 管理型プログラムを提供されている研修病院の方にお尋ねします。

- (1) 1つの管理型プログラムを他の研修病院・施設と立ち上げる(発案から申請まで。認可に要する期間は含めません)のために、費やす期間は、カ月程度である。
- (2) 管理型プログラム運営のために、毎に1回、時間程度の頻度で他機関を含めた会合を開いている。

【研修医の推移や、マッチング制度の存続、進路指導についてお伺いします】

問 13. 研修医の受入れについて、臨床研修必修化以前より、継続的交流のある大学を「交流大学」と呼ぶことにします。大学病院の場合は、その所属大学も交流大学の1つとします。

貴院の1年目研修医全体に占める、交流大学出身者数の割合はどのように推移していますか？平成 15、16、17 の各年度に着任の研修医についてお答えください。なお、平成 17 年度については、本年のマッチング結果（今月 28 日）により、お答えください。

平成 17 年度	平成 16 年度	平成 15 年度
%	%	%

問 14. 臨床研修の必修制度は継続するが、現状のマッチング制度が廃止されたならば、どのようになるだろうと予想しますか。次の事項について、お答えください。

- ・臨床研修医確保のための青田買いは、 1. 起きる 2. 起きない
- ・研修病院の臨床研修医採用のための業務は、 1. 増える 2. 変わらない 3. 減る
- ・臨床研修先決定のための学生の就職活動は、 1. 増える 2. 変わらない 3. 減る
- ・臨床研修先決定を支援する大学の業務は、 1. 増える 2. 変わらない 3. 減る
- ・大学病院以外の病院によるプログラムの提供は、 1. 増える 2. 変わらない 3. 減る
- ・その他

問 15. 研修医は、臨床研修後の進路をどのように決定すべきとお考えですか？

1. 臨床研修先の病院で、後期研修を進めればよい。
2. 後期研修希望者のためのマッチング制度を設立すべきである。
3. 臨床研修後の所属先は、各研修医が自分で探すのがよいであろう。
4. 出身大学の医局に所属し、従前の方法を活用するのがよいだろう。
5. その他

ご協力ありがとうございました。集計データの返送をご希望の場合は、貴院の御名称とご担当者の御氏名をご記入ください。

貴院の御名称：

御氏名：

1. 2. 研修医向けアンケート調査用紙

研修医マッチング 初年度参加主体アンケート（研修医）

- ・マッチングの結果に関わらず、平成15年にマッチングに参加された方がお答えください。
- ・選択型質問は、該当する選択肢番号を○で囲んでください。
- ・記入型質問は、所定の欄に数値等をご記入ください。
- ・平成16年11月15日までに、返信用封筒にてご返送ください。

【マッチングに関する情報提供について】

問1. 研修先決定の為の活動（研修先サーチ）をするとき、情報や解説が不完全、不明瞭、未決定、又は、分かりづらくて困った事項を5つ選び、不満の高かった順に並べてください。

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 研修医マッチング制度の概要 | 2. 研修医マッチングが平成15年開始となること |
| 3. マッチングへの参加登録の方法 | 4. マッチングプロセスの各段階のスケジュール |
| 5. 参加研修病院の一覧 | 6. 研修プログラムのID番号 |
| 7. 研修プログラム（医学的見地からの内容） | 8. 研修プログラム（派遣先協力病院や派遣期間） |
| 9. 各病院の給与 | 10. 各病院の給与以外の処遇 |
| 11. 各病院の説明会や採用試験の日程 | 12. オンライン・システムの安全性 |
| 13. 希望順位登録・変更等の操作方法 | 14. 希望順位登録できるプログラム数 |
| 15. マッチング・アルゴリズム | 16. 中間公表 |
| 17. 臨床研修後の進路 | 18. 全てアンマッチの時の対処の仕方 |

（←より不満が高かった事項を左へ）

--	--	--	--	--	--

問2. 本年平成16年度のマッチングにおいて、前問1の18事項の中で、昨年度より改善されていると思う事項（後輩等の話に基づく判断も含む）の番号を列挙してください。（順不同可）

【研修先サーチ・希望順位表提出について】

問3. 昨年、あなたは、希望順位表の提出締切りまでに、幾つのプログラムの採用試験を受験し、そのうち、幾つのプログラムを最終的に希望順位表に登録しましたか？

個のプログラムを受験し、 個のプログラムに登録した。

問4. 1つの採用試験受験に要した費用（健康診断書等の書類作成費、交通費、宿泊費等の総額）は、最低 万円、最高 万円、平均 万円。

このうち、書類作成書作成費用は、

最低 円、最高 円、平均 円。

問9. 現研修病院（プログラムの管理病院）は、次のいずれですか？

1. 出身大学の附属病院
2. 他大学の附属病院
3. 大学病院ではないが、出身大学が継続的に医師を派遣している研修病院
4. 上記以外の研修病院

問10. 臨床研修終了後の進路について、計画や希望をお教えてください。

問11. 現在、出身大学の方々とは、どのように連絡を取っていますか。（複数選択可）

1. 大学が研修医のために、相談窓口を設けており、それを利用している。
2. 大学の先生とは、個人的に連絡をとり、相談をしている。
3. 後輩または同輩とは、大学開設のウェブサイトや会報等を通じて、情報交換をしている。
4. 後輩または同輩とは、自主的に情報交換をしている。
5. 出身大学の方々とは、連絡をとっていない。

問12. 臨床研修の必修制度は継続するが、現状のマッチング制度が廃止されたならば、どのような予想しますか。お考えに相当するものをすべてご選択ください。

1. 臨床研修医確保のための青田買いが起きるだろう。
2. 卒業試験等、教育課程終盤の成績が重要なので、青田買いは起きないだろう。
3. 臨床研修先決定のための学生の就職活動は、負担が増すだろう。
4. 大学が、学生を臨床研修先に割り当ててくれるので、問題ないだろう。
5. 大学病院以外の病院によるプログラムの提供が減少するだろう。
6. 後期研修先決定にマッチング制度が導入されれば、問題はないだろう。
7. その他

ご協力ありがとうございました。集計データの返送をご希望の場合は、所属病院、連絡用電子メールアドレス、および、御氏名をご記入ください。

所属病院：

連絡用メールアドレス：

御氏名：

資料編 2

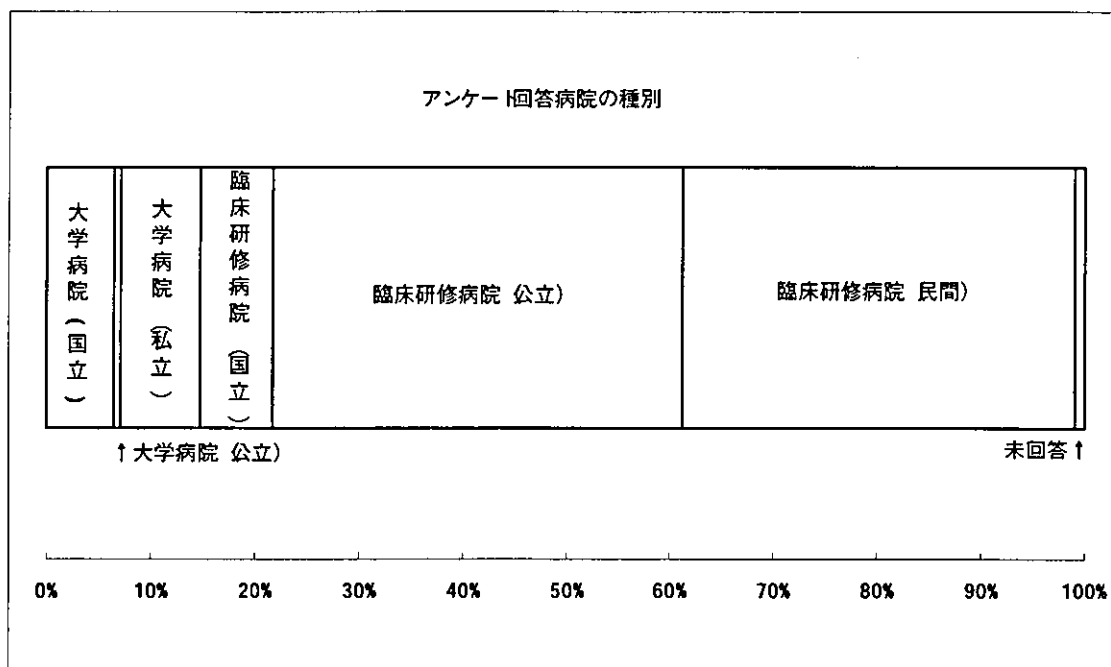
図表一覽

2. 1. 研修病院向けアンケートの集計図表

図表 2. 1. 1a, b 病院の種別

病院	回答数	%
大学病院（国立）	21	6.5%
大学病院（公立）	2	0.6%
大学病院（私立）	25	7.7%
臨床研修病院（国立）	23	7.1%
臨床研修病院（公立）	128	39.4%
臨床研修病院（民間）	123	37.8%
未回答	3	0.9%
計	325	100.0%

図表 2. 1. 1a



図表 2. 1. 1b

図表 2. 1. 2 病院の所在地

所在地	回答数	所在地	回答数	所在地	回答数	所在地	回答数
北海道	20	新潟	6	奈良	2	熊本	3
青森	3	富山	3	和歌山	4	大分	1
岩手	5	石川	5	鳥取	3	宮崎	1
宮城	9	福井	2	島根	4	鹿児島	6
秋田	6	山梨	4	岡山	4	沖縄	4
山形	6	長野	9	広島	8	未回答	1
福島	5	岐阜	7	山口	1	計	325
茨城	8	静岡	12	徳島	2		
栃木	5	愛知	26	香川	5		
群馬	5	三重	5	愛媛	5		
埼玉	9	滋賀	6	高知	3		
千葉	7	京都	3	福岡	8		
東京	23	大阪	24	佐賀	2		
神奈川	15	兵庫	18	長崎	2		

図表 2. 1. 2

図表 2. 1. 3a, b, c 総床数の分布

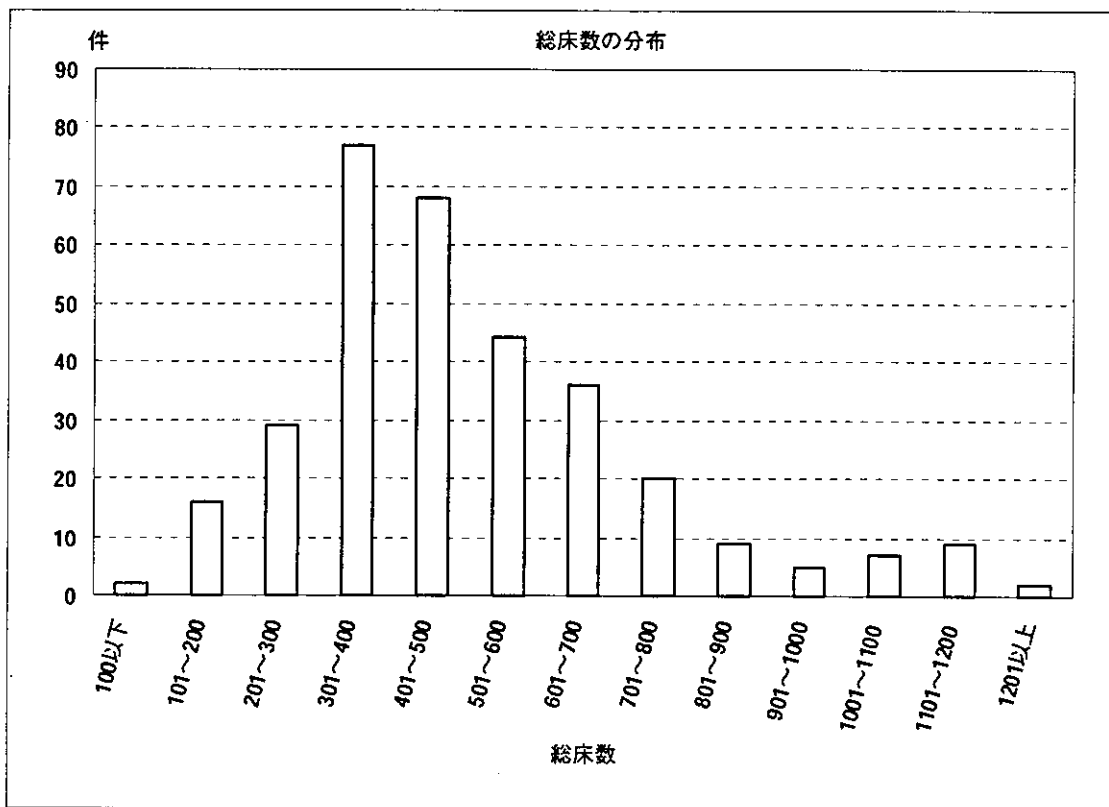
基本統計量	
平均	502.688272
標準誤差	12.9823904
中央値 (メジアン)	457.5
最頻値 (モード)	500
標準偏差	233.683027
分散	54607.757
尖度	1.71400849
歪度	1.18313318
範囲	1480
最小	30
最大	1510
合計	162871
標本数	324

注 1) 未回答を除く集計

図表 2. 1. 3a

総床数	回答数
100 以下	2
101~200	16
201~300	29
301~400	77
401~500	68
501~600	44
601~700	36
701~800	20
801~900	9
901~1000	5
1001~1100	7
1101~1200	9
1201 以上	2
計	324

図表 2. 1. 3b



図表 2. 1. 3c

図表 2. 1. 4a, b, c 1日平均外来患者数の分布

基本統計量	
平均	1093.63877
標準誤差	30.8604668
中央値 (メジアン)	1009.5
最頻値 (モード)	1100
標準偏差	548.587657
分散	300948.418
尖度	2.41659476
歪度	1.14918563
範囲	3662.4
最小	59.6
最大	3722
合計	345589.85
標本数	316

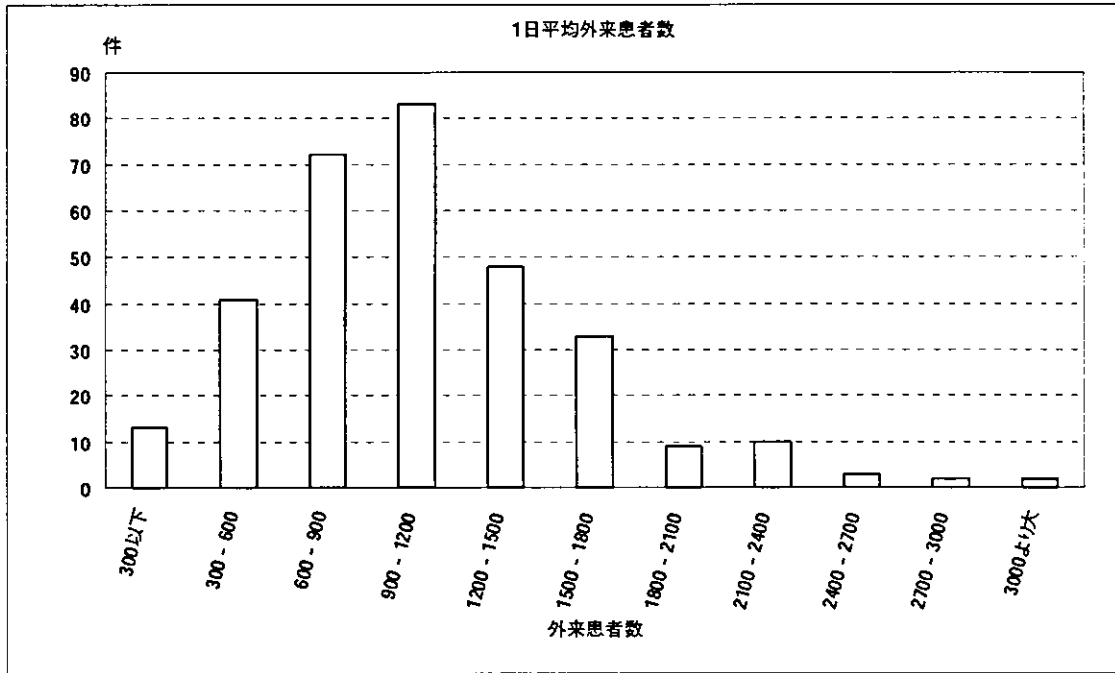
注) 未回答を除く集計

図表 2. 1. 4a

1日平均外来患者数	回答数
300 以下	13
300 - 600	41
600 - 900	72
900 - 1200	83
1200 - 1500	48
1500 - 1800	33
1800 - 2100	9
2100 - 2400	10
2400 - 2700	3
2700 - 3000	2
3000 より大	2
計	316

注) 区間 a-b は、a より大、b 以下を示す。

図表 2. 1. 4b



図表 2.1.4c

図表 2. 1. 5a, b, c 医師数（研修医を含む）の分布

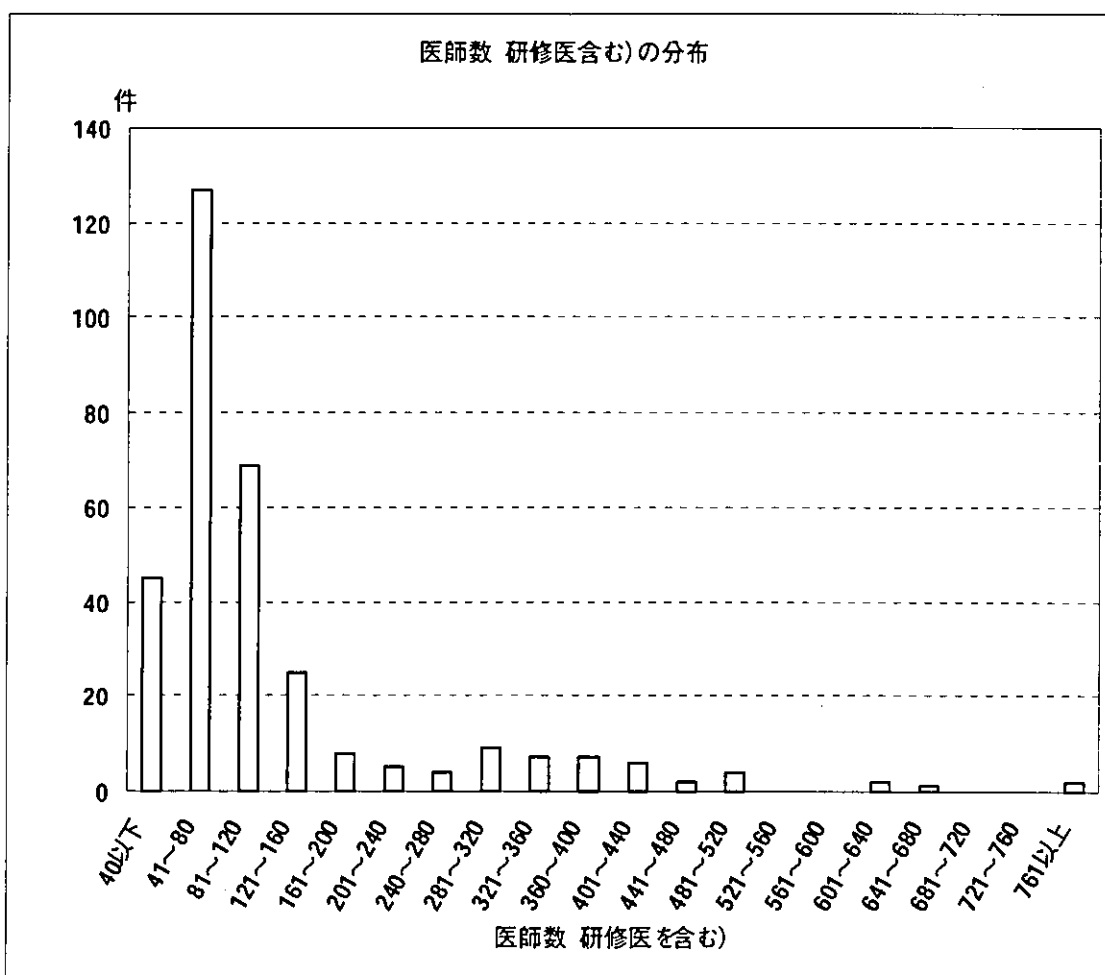
基本統計量	
平均	124. 6467
標準誤差	8. 659549
中央値（メジアン）	75
最頻値（モード）	51
標準偏差	155. 6312
分散	24221. 06
尖度	32. 91533
歪度	4. 633298
範囲	1586
最小	7
最大	1593
合計	40260. 9
標本数	323

注) 未回答を除く集計

図表 2. 1. 5a

医師数	回答数	医師数	回答数
40 以下	45	601～640	2
41～80	127	641～680	1
81～120	69	681～720	0
121～160	25	721～760	0
161～200	8	761 以上	2
201～240	5	計	323
240～280	4	注) 医師数は研修医を含む。	
281～320	9		
321～360	7		
360～400	7		
401～440	6		
441～480	2		
481～520	4		
521～560	0		
561～600	0		

図表 2. 1. 5b



図表 2. 1. 5c

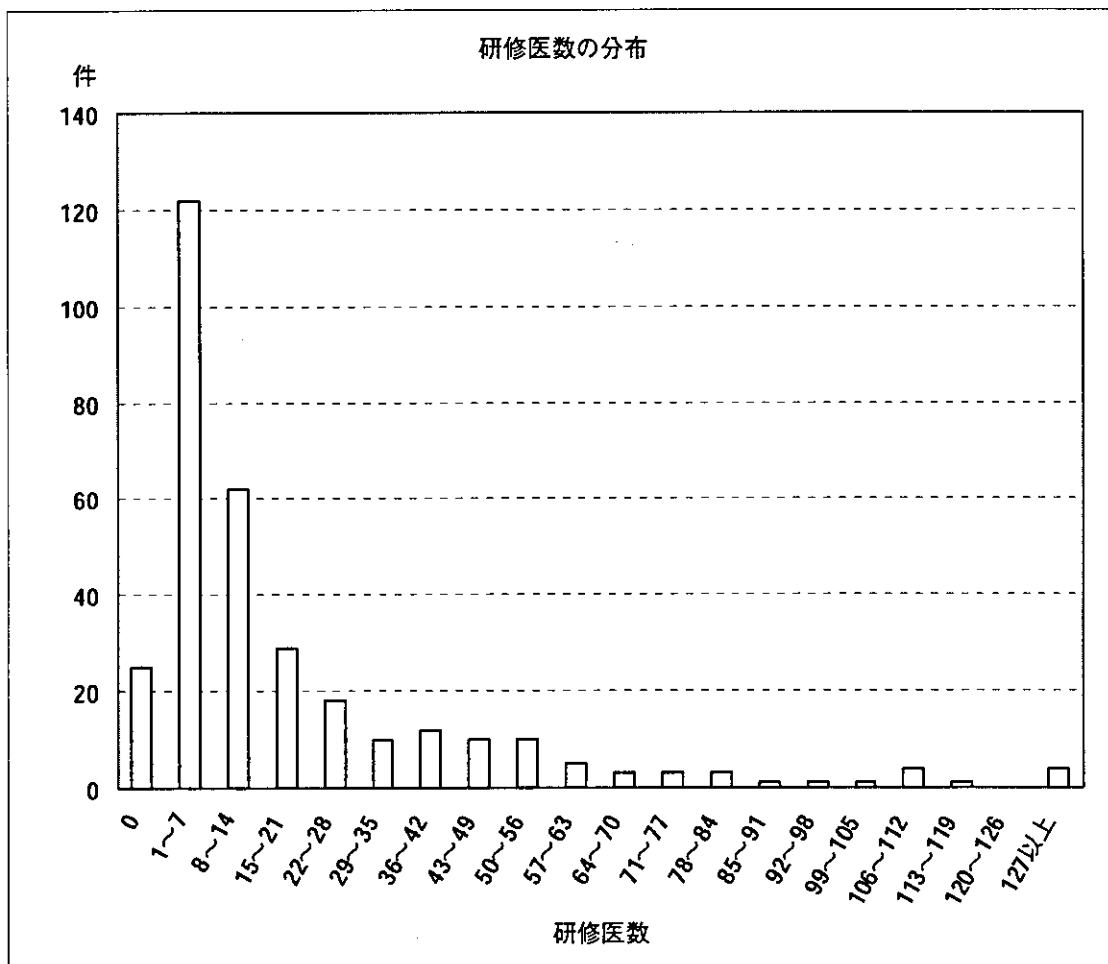
図表 2. 1. 6a, b, c 研修医数の分布

基本統計量			
平均	19.77778	最大	273
標準誤差	1.711411	合計	6408
中央値 (メジアン)	9	標本数	324
最頻値 (モード)	2	注) 未回答を除く集計	
標準偏差	30.80539		
分散	948.9721		
尖度	20.03469		
歪度	3.71826		
範囲	273		
最小	0		

図表 2. 1. 6a

研修医数	回答数	研修医数	回答数
0	25	71~77	3
1~7	122	78~84	3
8~14	62	85~91	1
15~21	29	92~98	1
22~28	18	99~105	1
29~35	10	106~112	4
36~42	12	113~119	1
43~49	10	120~126	0
50~56	10	127以上	4
57~63	5	計	324
64~70	3		

図表 2. 1. 6b



図表 2. 1. 6c

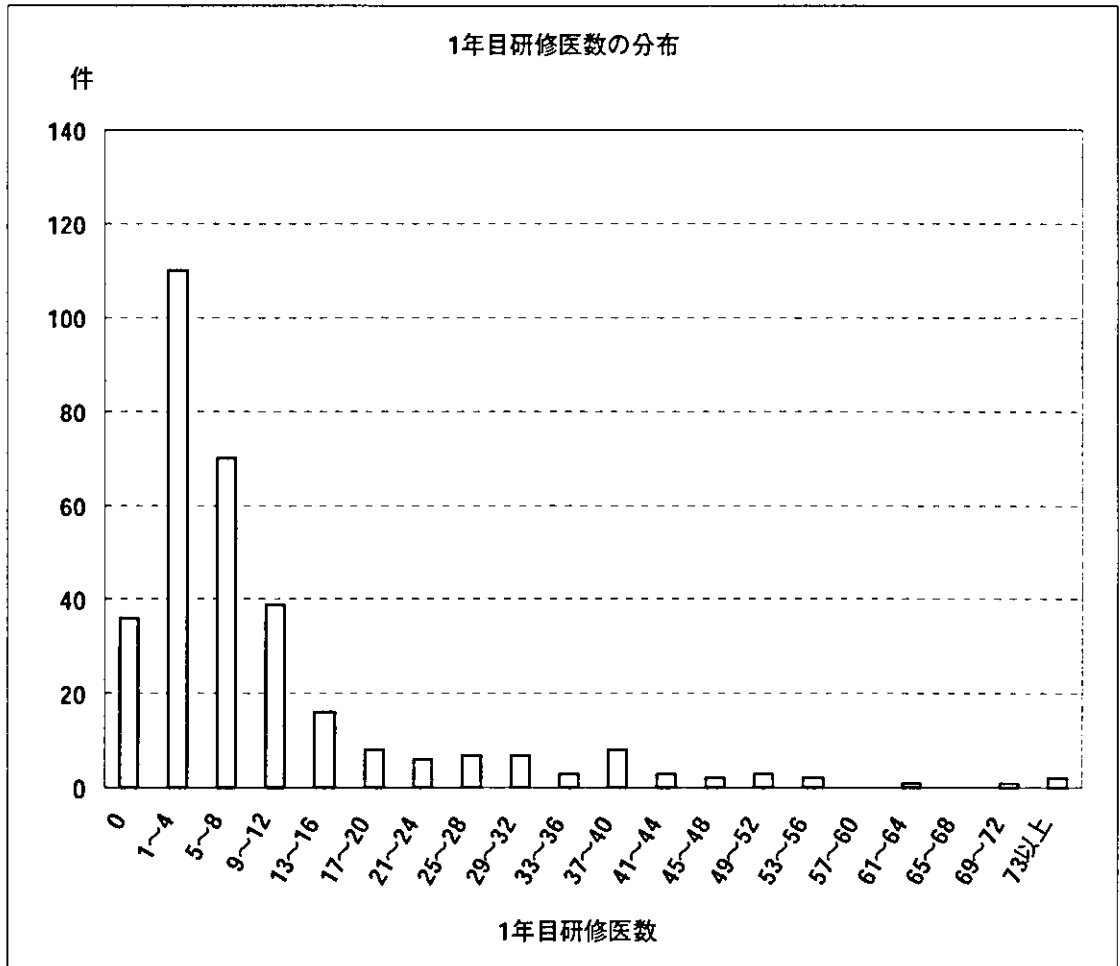
図表 2. 1. 7a, b, c 1年目研修医数の分布

基本統計量			
平均	9.753086	最大	78
標準誤差	0.732386	合計	3160
中央値 (メジアン)	5	標本数	324
最頻値 (モード)	2	注) 未回答を除く集計	
標準偏差	13.18295		
分散	173.7902		
尖度	6.619831		
歪度	2.43109		
範囲	78		
最小	0		

図表 2. 1. 7a

1年目研修医数	回答数	1年目研修医数	回答数
0	36	53~56	2
1~4	110	57~60	0
5~8	70	61~64	1
9~12	39	65~68	0
13~16	16	69~72	1
17~20	8	73以上	2
21~24	6	計	324
25~28	7		
29~32	7		
33~36	3		
37~40	8		
41~44	3		
45~48	2		
49~52	3		

図表 2. 1. 7b



図表 2. 1. 7c

図表 2. 1. 8a, b, c 研修プログラムの情報提示の方法

自己ウェブサイトと PMET のガイドブックの使い分け	回答数	%
1. 自己ウェブサイトにはガイドブックよりも詳細な情報を公開した	81	24. 9%
2. 自己ウェブサイトにはガイドブックと同等な情報を公開した	142	43. 7%
3. 自己ウェブサイトにはごく簡単な情報を掲載し、ガイドブックを主要情報提示先とした	70	21. 5%
4. PMET の臨床研修病院リンク集に URL のみ公開し、自己ウェブサイト上で情報提供した	22	6. 8%
5. インターネットは使用しないことにしている	2	0. 6%
未回答	8	2. 5%
計	325	100. 0%

図表 2. 1. 8a

より詳細な資料や願書の配布	回答数
a. 自己ウェブサイトから、自由にダウンロードできるようにした。	164
b. 問い合わせ者に対してのみ資料・願書を郵送や電子メールで配布した。	109
c. 説明会当の参加者や訪問者のみに、資料・願書を配布した。	77
未回答	6
計	356

注) 重複回答も有効として集計

図表 2. 1. 8b

自己ウェブサイトと PMET ガイドブックの使い分け	より詳細な資料や願書の配布方法			計
	a	b	c	
1. 自己ウェブサイトにより詳細な情報	59	13	10	82
2. 両方に同等な情報	66	52	40	158
3. ガイドブックが主要情報提示先	21	36	21	78
4. PMET のサイトに URL のみ公開	15	5	3	23
5. インターネットは使用しない	0	1	1	2
計	161	107	75	343

図表 2. 1. 8c

図表 2. 1. 9a, b, c 平成 15 年度着任研修医の 1 年目の年俸

基本統計量	
平均	382. 7945
標準誤差	11. 43864
中央値 (メジアン)	385
最頻値 (モード)	240
標準偏差	160. 1409
分散	25645. 12
尖度	0. 255563
歪度	0. 433392
範囲	834
最小	54
最大	888
合計	75027. 73
標本数	196

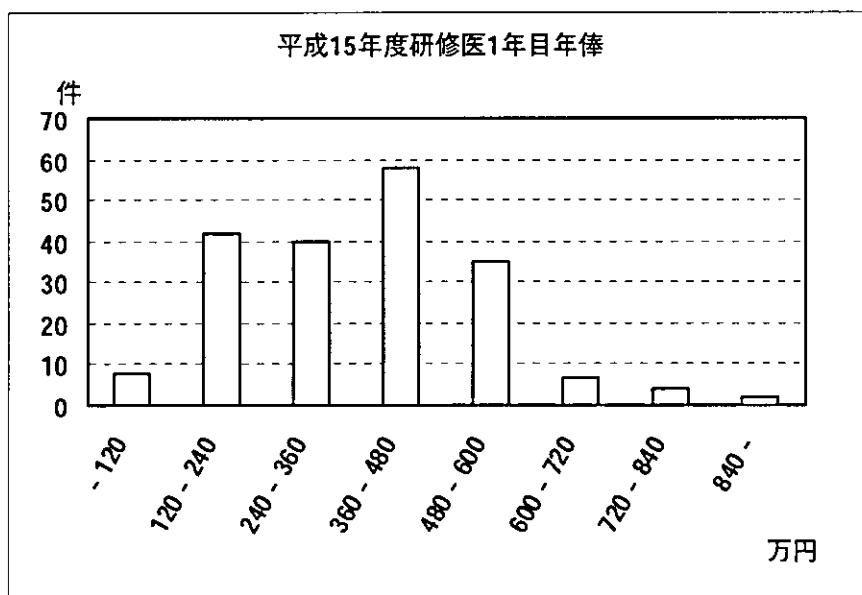
平成 15 年度 年俸 (万円)	回答数	%
120 以下	8	4. 1%
120 - 240	42	21. 4%
240 - 360	40	20. 4%
360 - 480	58	29. 6%
480 - 600	35	17. 9%
600 - 720	7	3. 6%
720 - 840	4	2. 0%
840 より大	2	1. 0%
計	196	100. 0%

注) 区間 a-b は、a より大、b 以下を示す。

図表 2. 1. 9b

注) 未回答を除き集計

図表 2. 1. 9a



図表 2. 1. 9c

図表 2. 1. 10a, b, c 平成 16 年度着任研修医の 1 年目の年俸

基本統計量	
平均	428.9524
標準誤差	6.402479
中央値 (メジアン)	400
最頻値 (モード)	360
標準偏差	113.2714
分散	12830.41
尖度	3.045349
歪度	1.321068
範囲	805
最小	144
最大	949
合計	134262.1
標本数	313

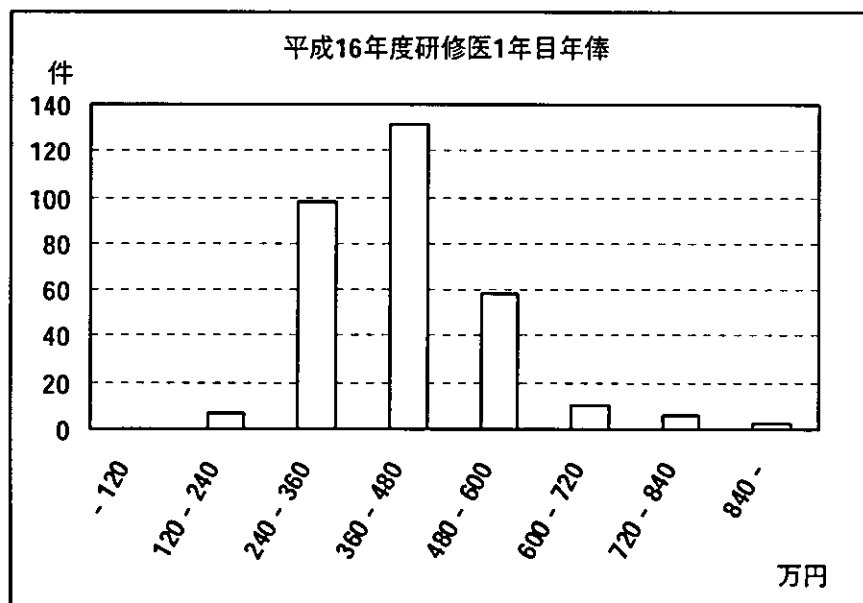
注) 未回答を除き集計

図表 2. 1. 10a

平成 16 年度 年俸 (万円)	回答数	%
120 以下	0	0.0%
120 - 240	7	2.2%
240 - 360	98	31.3%
360 - 480	131	41.9%
480 - 600	58	18.5%
600 - 720	10	3.2%
720 - 840	6	1.9%
840 より大	3	1.0%
計	313	100.0%

注) 区間 a-b は、a より大、b 以下を示す。

図表 2. 1. 10b



図表 2. 1. 10c